



いなば こうじ
稲葉 晃司
(超党派虹の会)



これからの富士宮市の教育環境について問う

問 通学区の変更、学校の統廃合、小規模特認校及び小中一貫校、これらの比較と効果をどのように考えているのか。

教育長 複式学級の解消や小規模校の改善の具体的な案として、統合も1つの考えであり、通学区の見直し、小中一貫校、小規模特認校制度といった解消案があり、芝川地区の説明会では、それぞれの学校の状況が異なることから持ち帰っていただき、再度学校や地域で協議してもらう話で終わったと思う。小中一貫校はこどもたちの数は増えないが、小中学校が一緒になることにより小学1年生から中学3年生までが同じところで学べるということは、先輩・後輩の数が増えることにより交流ができるメリットと、小中で教員と一緒にこどもを見れることが

あげられる。例えば、養護教諭が小学校1人、中学校1人だったのが、小中一貫になると学校は1つになるので、2人体制でこどもたちの様子を見ることが出来る点はメリットがあると思うが、人数が少ないうえでのデメリットを解消していくというのは、ちょっと目標が変わっているように思う。小規模特認校は、小規模独特でここでしかできないということを掲げて、市内の学区に関係なく指定校変更のような形で、どこからでも学校に行けるというもの。目的は人数を増やすというよりも、こういう特色があるので皆さん来てくださいといったものになっている。

問 今後の説明会のスケジュールリングはどのようになっているのか。

教育長 保護者、地域、こどもの声を聴きながら要望に対して提案していく形になると思う。統合ならば約2～3年、小中一貫校で約4年、小規模特認校、通学区の見直しは約1～2年の時間を最短で要することと思われる。

2月定例会の予定 2月10日(月)～3月19日(水)

日	月	火	水	木	金	土
2/9	10 開 会 施政方針	11	12	13 議案審議	14 総務文教 委員会	15
16	17 環境厚生 委員会	18 産業都市 委員会	19 議会運営 委員会	20	21	22
23	24	25	26	27	28 議会運営 委員会	3/1
2	3 代表質問	4 代表質問	5	6	7	8
9	10 予算審査 特別委員会	11 予算審査 特別委員会	12	13	14 一般質問	15
16	17 一般質問	18 一般質問	19 一般質問 議案審議 閉 会	20	21	22

- ◆定例会開催中以外にも、全員協議会、正副議長・正副委員長会議、会派代表者会議、議会だより編集委員会などが随時開催されています。
- ◆日程は変更になる場合があるため、間近になりましたら議会事務局にお問い合わせください。TEL:0544-22-1191
インターネット中継でも視聴できます。是非ご利用ください。

